



DE VILLE

CHRONOSCOPE CO-AXIAL RATTRAPANTE
ステンレススチール & ステンレススチール

キャリバー
3612

422.10.44.51.06.001

- 🌀 コーアクシャル・エスケープメント
- 🕒 自動巻き
- 🕒 クロノメーター
- 🕒 ラトラパンテ
- 🕒 サファイアクリスタルガラス
- 🕒 両面無反射コーティング
- 🕒 国際3年保証
- 🕒 10気圧(100m/330feet)防水



機能

リュウズは3つあります。

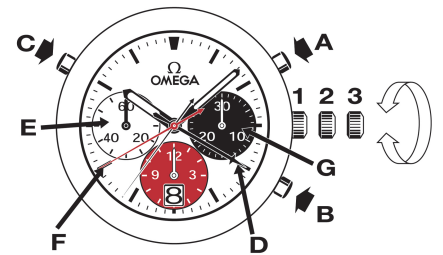
1. 通常位置（着用時）： リュウズがケース側に押し込まれている状態で、時計の防水性が確保されます。

再着用時： 時計を55時間以上着用していない場合は、1の位置でリュウズを巻き上げます。

2. 日付の修正： リュウズを2の位置に引き出し、6時側に回し、現在の日付を表示させ、リュウズを再び1の位置に押し戻します。

注意： 日付は午後9時から午前0時30分の間には変更できません。

3. 時刻（時・分・秒）の設定： リュウズを3の位置に引き出すと、秒針は停止します。リュウズをどちらか一方へ回し現在時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻して秒針を同調させます。



クロノグラフ機能

• プッシュボタンA： スタート・ストップ、スタート・ストップの繰り返し。
1/8秒単位で最高12時間まで計測可能です。

• プッシュボタンB： リセット（停止後）。

備考： リセット機能は、必ずクロノグラフを停止させてから使用するようにします。クロノグラフの2つのプッシュボタン（AとB）を決して同時に押さないようにしてください。

スプリット・セコンド・クロノグラフ

スプリット・セコンド機能によりクロノグラフでの計測進行中に、途中経過時間の測定が可能です。

1. プッシュボタンAを押して計測を開始します (スタート)。
2. 途中経過時間を記録するにはプッシュボタンCを押します。クロノグラフ機能による計測は継続しますが、スプリット・セコンドの針Dは停止し、途中経過時間が表示されます。

注意：クロノグラフの時G、分E、秒Fの各針は経過時間を継続して測定するため、途中経過時間は直ちに読み取ってください。

3. スプリット・セコンドの針が再びクロノグラフの秒針Fに重なるようプッシュボタンCを押します。
4. 新たに途中経過時間を記録するには、上記の2の手前から再び開始します。
5. プッシュボタンAを押してクロノグラフを止めます。
6. プッシュボタンBを押してリセットします。

注意：上記の3の手順で述べたように、クロノグラフをリセットする前に、スプリット・セコンドの針Dがクロノグラフの秒針Fに重なっている必要があります。

